

平成 18 年度 第2回 岩盤力学委員会

日 時 2007 年 3 月 22 日 15:00～17:30

場 所 土木学会 C・D 議室

参加者 (顧問) 奥園、菊池、岸、(委員長) 西脇、(副委員長) 清水、(幹事長) 日比谷、
(委員) 芥川、朝倉、石塚、市川、内田、大久保、中村 (大西の代理)、加納 (大
藪の代理)、岸田、北川、小山、武山、高橋 (田中の代理)、近久、橋本、平野、
合田 (前田の代理)、増田、日下 (真下の代理)、佐藤 (山口の代理)、太田 (吉
川の代理)、吉村、(幹事) 井上、宇野、並木 (武内の代理)、関根、進士 (オブ
ザーバー) 記録 (関根)

配布資料 岩盤力学委員会 平成 18 年度第二回委員会 議事次第
資料 1 岩盤力学委員会平成 18 年度第 1 回委員会議事録 (案)
資料 2-1 岩盤力学委員会 H18 年度執行額
資料 2-2 岩盤力学委員会 H19 年度予算
資料 3-1 平成 18 年度企画小委員会活動経過報告
資料 3-2 「EIT-JSCE Joint Seminar on Rock Engineering 2007」参加者・論
文募集のご案内
資料 3-3 公益信託土木学会学術交流基金 平成 19 年度助成(ジョイントセミナ
ー)に関する事務局からのお知らせ
資料 3-4 EIT-JSCE Joint Seminar 実行委員会発足に関する依頼書
資料 4-1 論文小委員会平成 18 年度活動報告
資料 4-2 論文小委員会平成 19 年度活動スケジュール案
資料 4-3 第 37 回岩盤力学に関するシンポジウム開催のご案内と論文の募集
資料 4-4 第 37 回岩盤力学に関するシンポジウム開催に伴うパネルディスカッシ
ョン企画募集
資料 5-1 リニアコライダー小委員会活動計画書 (案)
資料 5-2 平成 19 年度土木学会全国大会 研究討論会
資料 6 岩盤構造物の創造・保生に関するマネジメント研究小委員会活動経過
報告
資料 7-1 2006 (平成 18) 年度活動状況について (軟岩の物理化学特性評価に関
する研究小委員会)
資料 7-2 委員会活動報告 (同委員会、岩盤力学委員会 HP 掲載用)
資料 7-3 岩盤斜面のハザード評価研究小委員会活動経過および予定 (案)
資料 8 先端技術を利用した岩盤計測の体系化と実際への応用に関する研究小
委員会平成 18 年度活動報告
資料 9 研究小委員会設置申請書 (岩盤工学による国際活動支援研究小委員会)
資料 10-1 岩盤力学委員会 内規改定 (案)
資料 10-1 土木学会委員会内規作成ガイドライン
資料 11 土木学会誌原稿案「STATE OF THE ART」
資料 12 土木学会論文集分野再編に関する概要説明

議事内容

- ・出席者数確認 委員総数 64 人に対し、出席者数 42 人（内委任状 10 人）で過半数の出席により委員会は成立
- ・西脇委員長挨拶

1. 第 1 回岩盤力学委員会議事録確認（中村委員代理）

- ・内容承認された。

2. 平成 18 年度執行額・平成 19 年度予算（日比谷幹事長）

2.1 平成 18 年度執行状況

- ・残金はまとめて、岩盤シンポ運営のサーバー管理費に充てる。

2.2 平成 19 年度予算

- ・案が示され、承認された

3. 企画小委員会活動報告・次年度活動計画（岸田委員）

- ・メールマガジン発信、ホームページ更新管理、研究小委員会公募、ジョイントセミナー応募など、本年度の活動を報告
- ・EIT-JSCE Joint Seminar（2007.9.17-19、バンコク）を開催する。土木学会学術交流基金（75 万円）の助成を受ける。
- ・セミナーの実行委員会は、企画小委員会に設置する。メンバーに関しては了承された

4. 論文小委員会活動報告・次年度活動計画（岸田委員）

- ・岩盤シンポジウム実施など活動報告があった
- ・来年度の岩盤シンポジウムは 2008 年 1 月 10 日～11 日に行く。詳細は資料 4-2 参照。会告が土木学会誌 4 月号に掲載される予定
- ・次年度論文小委員会メンバーについて提案があり、承認された。4 名の委員が交代する。研究小委員会から 1 名新規に増員することになった。
- ・参加費は事前 6,000 円、当日 7,000 円とする
- ・関連して岩の力学国内シンポジウムについて、清水副委員長から、2008 年度開催する方向で検討を進めており、関係学会の協力をお願いしたいとの説明があった。

5. リニアライダ土木技術研究小委員会活動報告・次年度活動計画（清水副委員長）

- ・重点的に検討したい課題については、LC サイトアセス WG のようなタスクフォースを立ち上げ対応する。
- ・H19 年度土木学会全国大会研究討論会に応募した。参加をお願いしたい。

6. 岩盤構造物の創造・保生に関するマネジメント研究小委員会活動報告（中村委員代理）

- ・2007.4 に最終の委員会を実施し、これまでの内容をまとめ、報告書を作成して HP に公開する。
- ・現在の小委員会を母体とし、新規研究小委員会「岩盤構造物のアセットマネジメントに関する研究

小委員会」を提案した。

7. 軟岩の物理化学特性評価に関する研究小委員会活動報告および次年度活動計画
(日比谷幹事長が代理で説明)
 - ・次年度まで 1 年間延長して研究を継続する。
8. 先端技術を利用した岩盤計測の体系化と実際への応用に関する研究小委員会活動報告
(岸田委員が代理で説明)
 - ・今年度は 4 回の委員会を実施したなど活動報告。重点研究課題（助成金）の申請をしている。
9. 岩盤工学による国際活動支援研究小委員会の公募について（西脇委員長）
 - ・国際化の問題のニーズに対応するとの設立趣旨の説明があった。土木学会誌 3 月号で公募しており、6 月から活動するので、積極的な参加をお願いしたい。
 - ・実際に海外で活動している方の話を伺い、問題点の把握から始める。
 - ・マニュアルの整備も視野に入れている。
 - ・海外事業の計画から管理まで、トータル的に役立つようにしてはどうか。
10. 岩盤力学委員会内規改定について（日比谷幹事長）
 - ・土木学会の委員会内規作成ガイドラインに則って、岩盤力学委員会の内規改訂案を作成した。
 - ・委員の公募など、公平性の視点から改定案を作成した。
 - ・本委員会で承認された。
11. 土木学会誌原稿「State of the arts」について
 - ・各委員会が持ち回りで原稿を書いている土木学会誌の「State of the arts」に、岩盤力学委員会から記事を出すこととなった。
 - ・原稿の確認を行った。
12. 土木学会論文集分野再編について
 - ・論文集編集委員会の案の概要の説明があった。
 - ・シンポジウム論文集を講演集と位置づけ、論文は土木学会論文集に 1 本化する。
 - ・論文集は委員会ごととし、分野の近い委員会で協力する。
13. その他
 - ・次回予定：10 月中旬頃に平成 19 年度第一回委員会を予定。
14. 講演
(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構資源備蓄本部参与 織山純氏より「最近の地下貯蔵技術の動向」と題して、御講演頂いた。

以 上